

- 行田市では、木の温もりを身近に感じてもらい、森林整備への理解を深めていただくため、公共施設等への木材利用に森林環境譲与税を活用しています。
- 令和元年度においては、北海道産タモ材を使用して市内小学校の3教室に木製の背面ロッカー及び掃除用具入れを整備し、内装の木質化を推進しました。
- 今後においても、公共施設の内装木質化などを進めていく予定となっています。

事業内容

○公共施設の木質化事業

- ・ 国産材を活用し、背面ロッカーと掃除用具入れの木質化を実施。

【事業費】3,564千円（うち譲与税3,148千円）

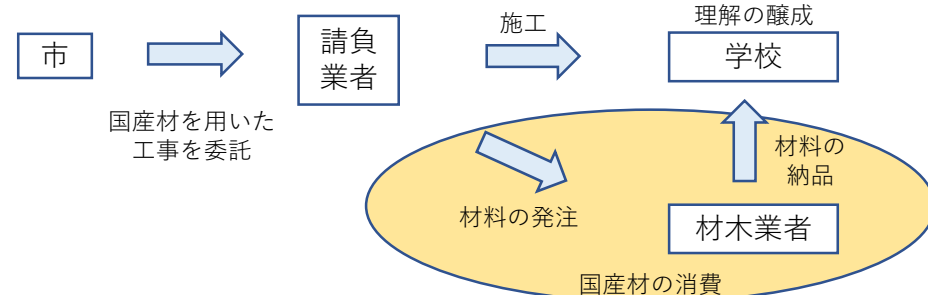
【実績】木材使用量 約1.4 m³



ロッカー及び掃除用具入れの木質化

事業スキーム

○公共施設の木質化事業



工夫・留意した点

- ・ 材料選定においては、耐久性や美観を考慮し、反りやねじれ、割れがおこりにくく天然木よりも優れた強度を持つ集成材としました。

基礎データ

①令和元年度譲与額	3,148千円
②私有林人工林面積（※1）	0 ha
③林野率（※2）	0.16%
④人口（※3）	82,113人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より